

長期環境ビジョン

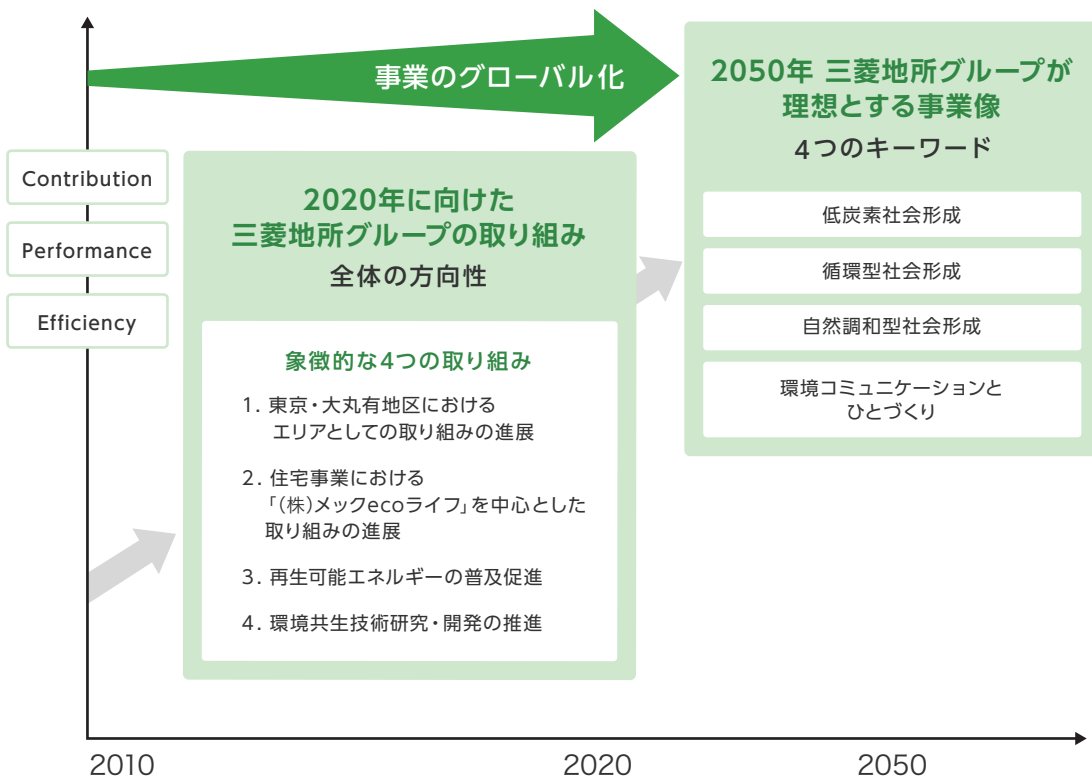
三菱地所グループは、「三菱地所グループ環境基本方針」に基づいて、将来に向け、地球環境との共生に積極的に取り組むため、「三菱地所グループ長期環境ビジョン」を策定し、地球環境の負荷低減に向けて能動的に社会に貢献していく姿勢を、より明確にします。

三菱地所グループ長期環境ビジョン

For the Environmental Sustainability 2050

三菱地所グループは、全ての事業活動において、高い環境技術を磨き、新たな価値創造に挑戦することを、自らの成長戦略と位置づけます。

事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するために、革新的な技術を開発し、実用化し、普及を促進するとともに、お客さまにワークスタイルやライフスタイルの変革を提案し、長期的な時間軸の中で、環境水準を複合的かつ累積的に高めていくことを目指し、積極的な取り組みを進めます。



■ 2050年 三菱地所グループが理想とする事業像

環境経営におけるグループの将来の目標を明確にするため、グループ環境基本方針に掲げる、「低炭素社会形成」、「循環型社会形成」、「自然調和型社会形成」、「環境コミュニケーションとひとづくり」、この4つをキーワードとして、2050年の理想の事業像を描きます。

低炭素社会形成

三菱地所グループがこれまでに蓄積してきたナレッジやノウハウを活用し、関係者と協働して資源やエネルギーの効率的利用を徹底するとともに、再生可能エネルギーを積極的に活用し、グローバルな事業活動を通じて発生する温室効果ガスの極小化を推進しています。

さらに都市全体が低炭素型の構造に転換し、社会がカーボン・ニュートラルな状態となるよう積極的な貢献を果たしています。地球規模で、ライフサイクルを通じたCO₂の排出を抑制することをめざし、地球環境への配慮と快適性・利便性・生産性の向上との両立を実現させる事業をグローバルに展開しています。

循環型社会形成

三菱地所グループのグローバルな事業活動を通じて発生する廃棄物について、企画・開発・設計・施工・運営・売却・解体などすべての段階において、リデュース（廃棄物などの発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を徹底し、関係者と協働して資源・エネルギーとして循環させることにより、最終処分場で埋立処分される廃棄物量がゼロとなるよう積極的な貢献を果たしています。

また、建物の新築に当たっては、建物の長寿命化を実現し、また、既存ストックについては、長期的な観点からその改善に継続的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。

自然調和型社会形成

三菱地所グループのグローバルな事業活動において、生物多様性への配慮を行い、自然と調和し、水と緑にあふれる魅力あるまちづくりを推進することによって、動植物などのいきものと共生し、街に住み、働き、訪れるお客さまが日常生活の中で身近な自然と触れあうことのできる空間を提供しています。

また、建設資材をはじめとして、事業活動における原材料調達に当たっては、広い視野で生物多様性の持続可能な利用への配慮を行うとともに、森林資源の保護・育成など、生態系・生物多様性の保全に貢献しています。

環境コミュニケーションとひとづくり

ひとりひとりの地球環境への意識が成熟し、ワークスタイル・ライフスタイルが変革し、地球環境に配慮した生活を送る社会において、三菱地所グループは、お客さまへの情報発信、お客さまとの環境コミュニケーションを通じて、グループ内外の人びとの環境意識を高め、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然調和型社会」の形成に資するひとづくりにグローバルに貢献しています。

また、三菱地所グループ社員は、主体的かつ能動的に地球環境へ配慮した事業活動や生活を送っています。

■ 2020年に向けた三菱地所グループの取り組み

2050年の理想の事業像の実現を目指して、2020年に向けた取り組みとして、グループ全体の方向性を定めるとともに、象徴的な4つの取り組みを掲げ、積極的に環境経営を推進します。

低炭素社会形成

三菱地所グループの直接的な事業活動に加えて、お客さま（テナント、住宅購入者、施設利用者など）の使用段階でのエネルギー消費量、温室効果ガス排出量の削減を実現するために、省エネルギー、新エネルギー技術や機器の積極的な導入および研究開発を推進し、ビルやマンションなどの環境性能（断熱性能・設備性能・運転効率）の向上をめざし、継続的な取り組みを進めます。

再生可能エネルギーや都市の未利用エネルギーの活用とともに、エネルギーの面的な利用を推進し、運用の改善に継続的に取り組み、環境負荷量の見える化などを通じて、お客さまとの協働により、温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを積極的に展開します。

循環型社会形成

限りある資源を有効に活用することで、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルから脱却し、真に豊かな「循環型社会」を形成するために、新築・既築を問わず、建物の長寿命化を図り、優良なストックの形成をめざすと同時に、建設・販売などの各段階でリデュース（廃棄物などの発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）に積極的に取り組みます。また、お客さまとの協働により、廃棄物（生ゴミなど）のリサイクルなども積極的に展開していきます。

自然調和型社会形成

開発事業や建物建設などの計画においては、周辺環境との調和や、生態系・生物多様性に配慮し、豊かな街路樹をはじめ、外構の緑化、屋上緑化、壁面緑化などプロジェクト地内での緑地率の向上に努め、ヒートアイランド対策に資するとともに、お客さまが日常的に自然の恵みを体感することのできる潤いある空間を創出することをめざします。

建設資材をはじめとして、事業活動における原材料調達に当たっては、生物多様性の保全と持続可能な利用に配慮するとともに、国産材の活用に努めます。

NPO や NGO などとの連携・協働による生態系・生物多様性の保全活動を積極的に展開していきます。

環境コミュニケーションとひとつづくり

経営トップをはじめとするすべての三菱地所グループ社員が、地球環境に対する意識を高め、地球環境との共生が重要な経営課題であることを認識し、実効性の高い環境活動を実践するために、環境教育、啓発活動を積極的に推進します。

また、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然調和型社会」を形成していくために、環境コミュニケーションを通じて、お客さまをはじめとする、さまざまなステークホルダーの地球環境に関するニーズを的確に把握した上で、そのニーズに応える取り組みをお客様などとの協働により、積極的に展開していきます。

象徴的な 4 つの取り組み

1. 東京・大丸有地区におけるエリアとしての取り組みの進展

- 既存ビルのリニューアルにより環境性能を改善するとともに、環境性能の改善に限界のある既存ビルを環境性能の高い新ビルへと建て替えを進めます。
- 地域冷暖房事業において、高効率プラントの再整備・導管ネットワークの拡充を進め、面的なエネルギー効率の向上を図ります。
- 各ビルでの「地球温暖化対策協議会」などを通じ、テナントと一体となった、省エネ活動・地球温暖化対策への取り組みを進めます。
- 環境戦略拠点『エコツェリア』を通じて、産官学民とのパートナーシップを図り、環境共生型まちづくりを推進します。

2. 住宅事業における『(株)メックecoライフ』を中心とした取り組みの進展

- 三菱地所グループが開発する集合住宅の企画に対して、地球環境・デザインに関するさまざまな研究・提案を行うことを目的に、(株)メック eco ライフを設立しました。
- 変化するお客さまのニーズに即した新たな品質と価値の創出を進めています。

3. 再生可能エネルギーの普及促進

- 新丸ビルへの生グリーン電力導入をはじめとして、グリーン電力の利用を拡大します。
- 再生可能エネルギー事業者への支援を行います。
- 建物屋上や壁面などを利用し、太陽光エネルギーを活用します。

4. 環境共生技術研究・開発の推進

- より能動的に地球環境との共生を進めるために、他者と協働し、最先端技術の研究・開発に取り組みます。
- 産官学が連携した取り組みを推進します。
- 省 CO₂ 実証オフィスやゼロ・エネルギー住宅、スマートグリッド実験などを展開します。